

平成29年度第2四半期「景気動向調査」結果報告

製造業では回復の動きが見られ、 非製造業では回復基調に一服感

コメント: 【製造業】

売上高において、対三カ月前比と対前年同期比のD I 値はマイナス幅を縮小させ▲2.2と▲10.9に改善した。前回から連続で回復しており、プラス値へ転じていけるか今後の調査が期待される。三カ月後予測では▲4.3に下落した。2期連続の悪化でマイナス値に転じたものの、まだまだ数値は低くない。

景況感において、対三カ月前比と対前年比のD I 値は回復し、▲10.9と0.0に改善した。三カ月後予測では売上高と同様で悪化し▲10.9に下落。3期連続の悪化でマイナス値まで下落した。

人手不足について、約半数が影響なく、事業運営より採用に影響があると回答された企業が多かった。

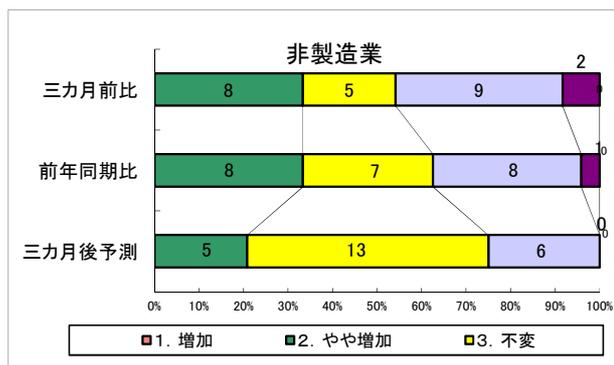
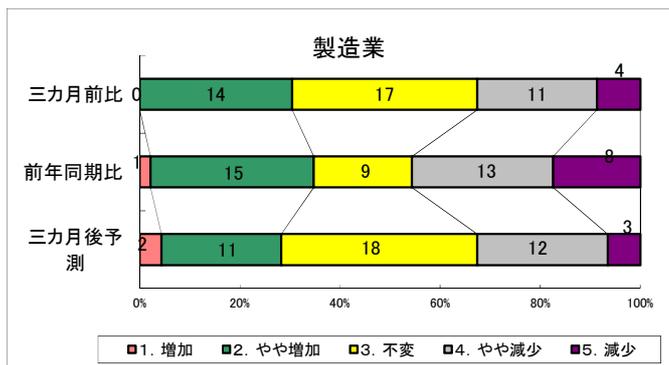
【非製造業】

売上高において、対三カ月前比のD I 値は▲12.5に下落。対前年同期比では▲4.3から0.1回復とほぼ横ばいの▲4.2になった。景気回復基調に一服感が見られる。三カ月後予測では▲8.7から4.5回復し▲4.2に改善した。

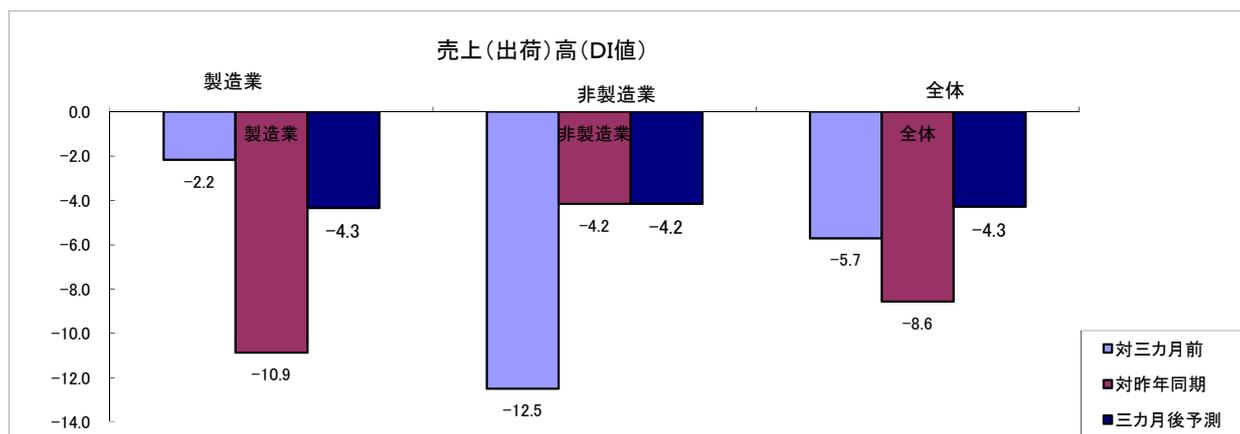
景況感において、対三カ月前比と対前年同期比は両項目とも大幅に悪化し▲33.3と▲25.0に下落した。回復の兆しを見せた前回調査から一転、下落する結果になった。三カ月後予測では売上高と同様で回復を見せ▲4.2に改善した。

人手不足について、6割が影響はないと回答。製造業同様、事業運営より採用に影響があるといった回答が多かった。

1. 貴社の売上(出荷)額について



DI値	対三カ月前	対昨年同期	三カ月後予測	対三カ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)	三カ月後予測 (前回)
製造業	-2.2	-10.9	-4.3	-11.6	-32.6	11.6
非製造業	-12.5	-4.2	-4.2	0.0	-4.3	-8.7
全体	-5.7	-8.6	-4.3	-7.6	-22.7	4.5

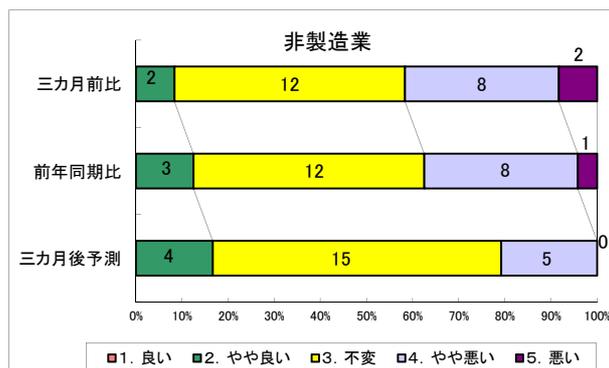
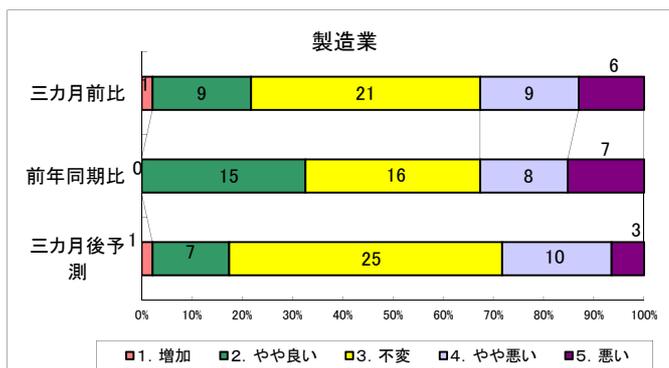


対三カ月前比において、製造業ではDI値が▲11.6から9.4回復し▲2.2に改善した。3期連続で回復の動きが見られた。プラス値へ移転できるか今後の調査が期待される。非製造業では0.0から▲12.5に下落した。

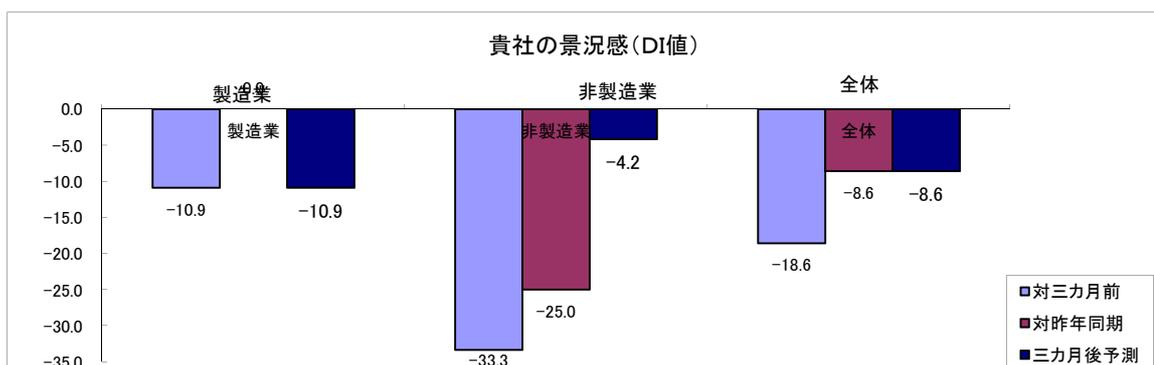
対前年同期比において、製造業では▲32.6から21.7大幅に回復し▲10.9に改善した。2期連続で回復の動きが見られた。非製造業では▲4.3から▲4.2とほぼ横ばいであった。

三カ月後予測において、製造業では11.6から15.9大幅に悪化し▲4.3に下落した。2期連続の下落でプラス値からマイナス値へ転じたものの、まだまだ数値は低くない。非製造業では▲8.7から4.5回復し▲4.2に改善した。

2. 貴社の景況感について



DI値	対三カ月前	対昨年同期	三カ月後予測	対三カ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)	三カ月後予測 (前回)
製造業	-10.9	0.0	-10.9	-27.9	-18.6	0.0
非製造業	-33.3	-25.0	-4.2	4.3	0.0	-13.0
全体	-18.6	-8.6	-8.6	-16.7	-12.1	-4.5



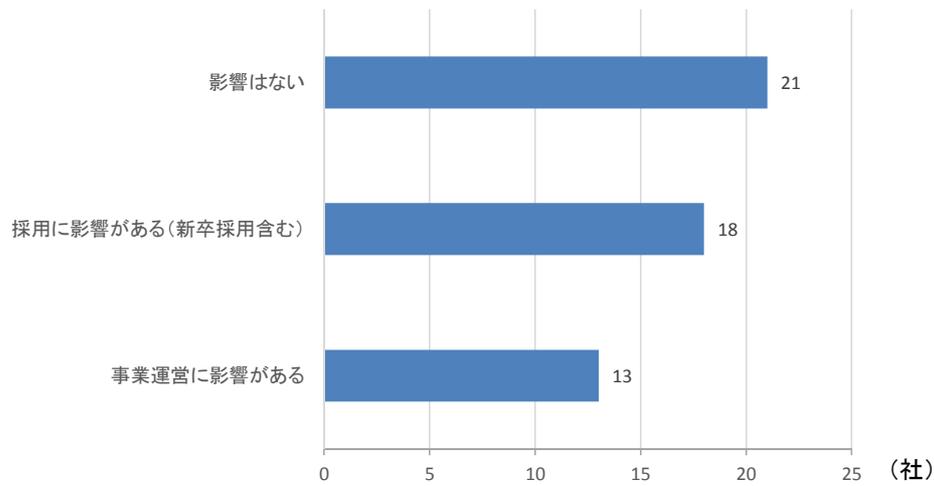
対三カ月前比において、製造業ではDI値が▲27.9から17.0大幅に回復し▲10.9に改善した。非製造業では4.3から37.6大幅に悪化し▲33.3となった。今回の大幅な悪化によりプラス値からマイナス値に転じた。

対前年同期比において、製造業では▲18.6から大幅に回復し0.0に改善した。3期連続の回復となりプラス値に転じいけるか今後の調査が期待される。非製造業では0.0から大幅に悪化し▲25.0に下落した。製造業と非製造業に差がでる結果になった。

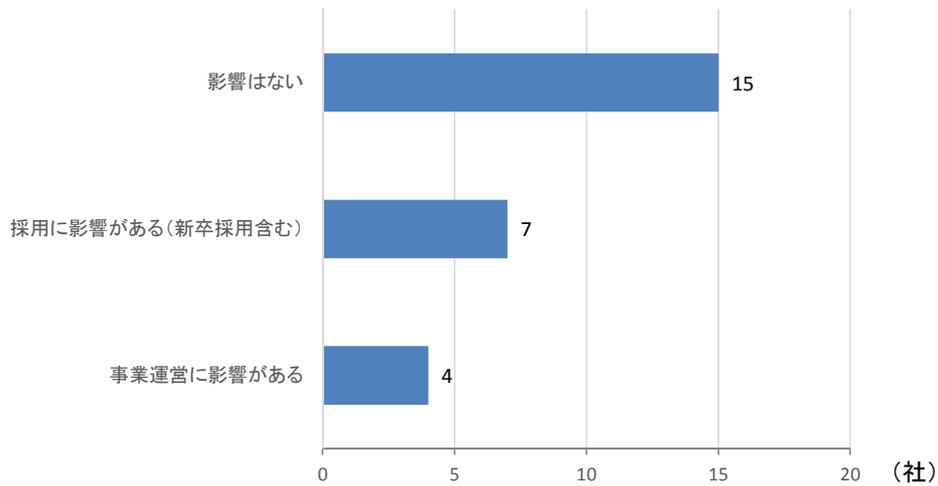
三カ月後予測において、製造業では0.0から▲10.9下落した。マイナス値まで落ちこみ3期連続の下落となった。非製造業では▲13.0から8.8回復し▲4.2と改善した。2期連続の回復となりプラス値に転じいけるか今後の調査が期待される。

3. 人手不足の影響について(複数回答可)

製造業(46社回答)



非製造業(24社回答)

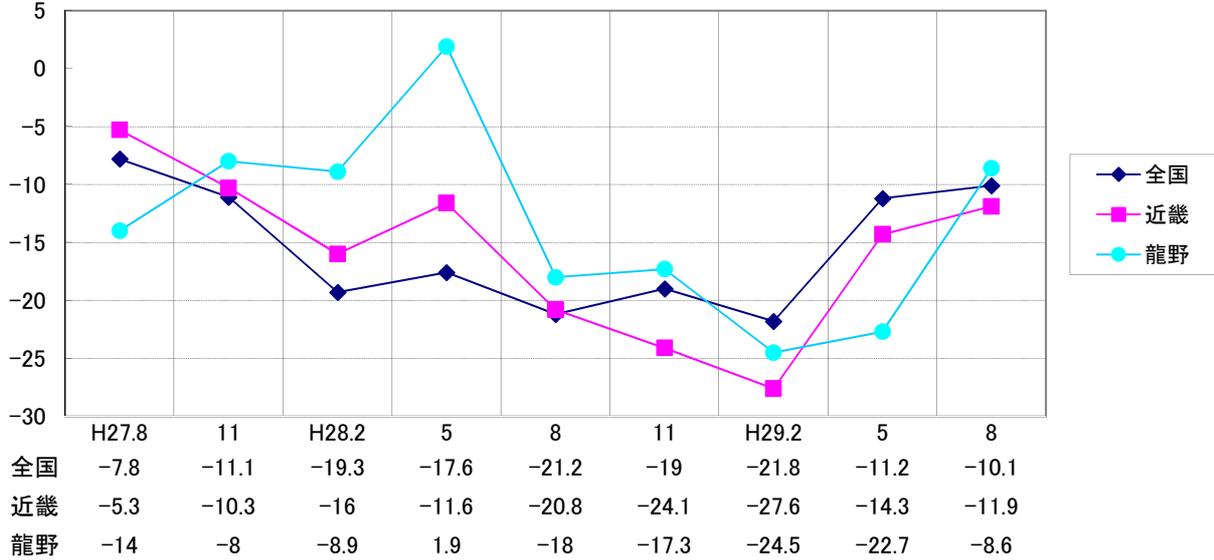


製造業では「影響はない」と答えた方が21社と約半数いた。「事業運営に影響がある」と答えた方は13社いるのに対し、「採用に影響がある」と答えた方は18社とやや上回る結果になった。

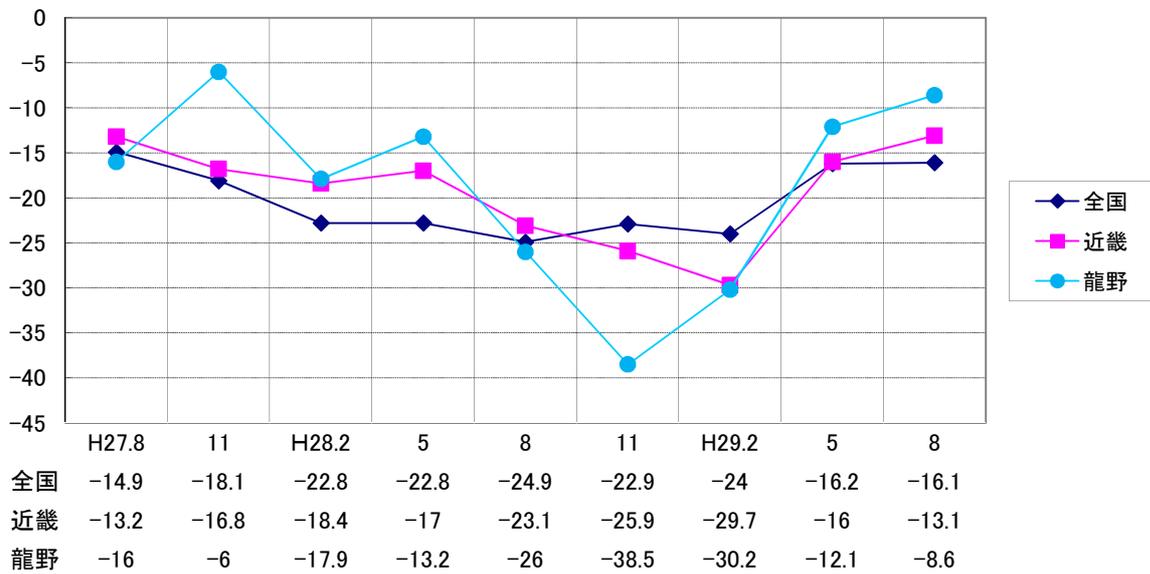
非製造業では「影響はない」と答えた方が15社と6割に及んだ。製造業と同様に非製造業でも「事業運営に影響がある」と答えた方よりも「採用に影響がある」と答えた方が多かった。

全国・近畿ブロック調査との比較

売上(出荷)額 対前年比



景況感 対前年比



全国・近畿ブロック別調査………日本商工会議所実施のLOBO(早期景気観測)調査
 ※H29. 8の数値は7月度実施分を掲載

調査概要

1. 調査目的 四半期ごとに景気動向調査を実施し、管内景況を恒常的に把握する。
調査を実施し恒常的に管内景況を把握する。
2. 調査期間 平成29年7月24日(月)～8月4日(金)(基準日8月1日)
3. 調査方法 FAXにより依頼、回答
4. 調査対象 各役員議員、部会役員、地区振興委員、青年部、女性会 130社

※DI値＝「好調＋やや好調」(持ち直す)の回答割合から「悪い＋やや悪い」(悪化する)の回答割合を差し引いたもの。数値が高いほど景況感が良く、低いほど悪い。
プラス100が最高値、0が平均、マイナス100が最低値を示す。

5. 対象企業の属性

所属部会	対象数
一般工業	28
建設業	21
醤油工業	7
食品工業	12
皮革工業	15
公益業	16
サービス業	12
商業	19
合計	130

調査対象	対象数	回答数	回答率
製造業	83	46	55.4%
非製造業	47	24	51.1%
合計	130	70	53.8%